

白内障手術で使用する眼内レンズの比較 に関する研究のお知らせ

帝京大学ちば総合医療センター では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2026 年 8 月 12 日 ～ 2027 年 3 月 31 日

〔研究課題〕 白内障手術における enhanced 単焦点レンズの術後視力の検討

〔研究目的〕 白内障手術の際に挿入する眼内レンズの種類ごとの術後視力の差異を比較すること。

〔研究意義〕 白内障手術の際に挿入する眼内レンズには単焦点レンズ、多焦点レンズなどの種類があります。多焦点レンズのほとんどは選定療養の対象であり、当院では扱っていません。近年、単焦点レンズでありながら多焦点レンズに似た性能を持つレンズが複数の会社から発売されており、ほぼ同じ性能と言われているもののレンズごとの細かな違いは明らかになっていない部分もあります。本研究で眼内レンズごとの違いが明らかになることで、より患者様ごとに適した「オーダーメイドの眼内レンズ選択」が可能となり、術後満足度の向上につなげることができます。

〔対象・研究方法〕

当院において 2025 年1月1日～2026 年 5 月 31 日に施行した白内障手術について、対象となる症例を過去の電子カルテから検索し、眼内レンズごとの術後視力の違いを解析します。

選択基準

- ・50 歳以上
- ・術後 1 ヶ月外来時に矯正視力が 0.8 以上
- ・対象の眼内レンズ(XY1-EM,XY1-SP,XY1ATx-SP,DIB00V,DIUxxx,CNA0T0)を使用した症例

除外基準

- ・術中に虹彩切開を施行した症例
- ・黄斑疾患(加齢黄斑変性、糖尿病黄斑浮腫、網膜静脈閉塞症など)の既往のある症例
- ・研究責任(分担)医師が研究対象者として不適当と判断した患者様
- ・患者様もしくは患者様家族より本研究に参加しない旨の申し出があった場合

〔研究機関名〕 帝京大学ちば総合医療センター 眼科

〔個人情報の取り扱い〕研究実施に係る生データ類を取扱う際は患者様の秘密保護に十分配慮する。具体的には、本研究で得られた個人情報は、一見して個人を特定できない状態にして管理し外部に洩れることのないように厳重に管理する。研究の結果を公表する際は、研究対象者を特定できる情報を含めないようにする。研究の目的以外に、研究で得られた研究対象者のデータを使用しない。データの使用に関する同意に関しては、いつでも自由意志で撤回できる。研究データは当該論文等の発表後 10 年間の保管とする。廃棄時は電子データを削除して廃棄する。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者: 横内裕敬	職名 帝京大学ちば総合医療センター 眼科 教授
研究分担者: 河合亮拓	職名 帝京大学ちば総合医療センター 眼科 非常勤医師
所属: 帝京大学ちば総合医療センター 眼科	
住所: 〒299-0112 千葉県市原市姉崎3426-3 TEL: 0436-62-1211(代表)	